

① オープン・クローズ戦略について

ビジネスにおけるネットワーク化を考えるにあたり、市場を広げるオープン性とシェアを守るためのクローズ性の境目をどう考えるかが重要。その際に1次世代を取った人が2次世代を取れるのかについても状況を注視する必要があるのではないか。

オープン性を推進して、競争相手が追いついてくる前に次のステップに進むのが良いのではないか。その場合にはユーザベースを広げることが必要。

製造業における、分散の取組に日本のチャンスを感じた。ソフトウェアはアメリカ等と正面からの戦いだと思うが、製造側については、日本の強みもあるので、取り組んでもよいのではないか。こちらは中国、台湾に対してどう競争力を保持するのか。技術のコアを抑えれば、勝てるかを考えることが重要

② 実験環境について

機械学習には、膨大な処理が必要となる。高処理速度を持つコンピューターを数台置くだけでも機械学習のサービスを育成する最先端のAI実験環境を構築することができる。

データを使った学習が重要。複雑化してくると学習のさせ方が肝になってくるのではないか。学習には、時間がかかるため、クラウドのパワーが必要。一箇所に集めて、学習できる環境を整備してもよいのではないか。

③データの価値と知的財産

学習アルゴリズムではなく、学習済みモデルに市場価値がある。この知的財産をどう守るかが重要。また一方で、学習済みモデルが使われた際の責任をどうするかの問題も表裏一体であるのでそちらも考えることが必要。

出てくるデータとその処理で生まれた情報に価値があるかどうかは、実際にビジネスをして、仮説・検証を回さないと分からないので実施することが重要。

AIやデータの価値については、ソフトウェア権利の考え方と一緒に。ソフトウェアは前は特許で守っていたが、その後は著作権で管理するようになった。AIなどでイノベーションを起こしていくのであれば、著作権で管理して、2次工作、3次工作で活用するエコシステムを考えるか建設的に考えることが必要。